
2025年度事業報告

循環経済(サーキュラーエコノミー)に向けた取り組み①

■ ビジネス機会としての意識醸成、事業化案件の増加、支援力の向上

- ・計画: セミナーや所報等による情報発信と、播磨圏域における再資源化案件の支援。
- ・実績: 循環経済セミナー開催で認知度向上、乾麺残渣の再利用案件(クラフトビールに利用)を支援。
- ・今後の取組等: 新事業情報を共有し、新産業・新事業創出への取組みの支援。

➤ サークュラーエコノミーセミナー

食品残渣の利用を核とするユニークなビジネスモデルを紹介することで、CEへの認知度を高め、新たな収益源を探るヒントを提供した。

株式会社TOMUSHIは、カブトムシを活用し食品残渣を代替タンパク質や有機肥料に転換する、経済合理性の高い循環型ビジネスモデルを紹介。有限会社大浦フーズは、牛ミノ加工の食品残渣を「ゴミではない資源」と捉え直し、意識改革と協業によりペットフードや惣菜開発に成功した事例を提示。

両事例から、発想の転換と独自技術が新たな収益源を生む可能性が示された

■開催日 2025年7月11日(金)

■参加者 42名

■講演

- ▶ (株)TOMUSHI 代表取締役 石田 陽介 氏
- ▶ (有)大浦フーズ 代表取締役 大浦 智史 氏



(石田 氏)



(大浦 氏)



➤ 循環型ビジネスで拓く新たなビジネスチャンス(ものづくりプラットフォーム第2回セミナー)

循環型事業の最新トレンドや事業化の視点について理解促進を図るため、セミナーを開催した。

脱炭素経営やCFP活用の考え方を紹介するとともに、地域企業・大学による資源循環の取組事例を共有した。

セミナー後の交流会では、イーグレブルワリーが乾麺残渣を活用して開発したアップサイクルクラフトビールの試飲を実施した。

■開催日 2026年2月27日(金)

■参加者 59名

■講演

- ▶ 甲子化学工業(株) 企画開発部長 南原 徹也 氏(オンライン)
- ▶ 遠東石塚グリーンペット(株)代表取締役社長 安田 真一 氏
- ▶ 兵庫県立大学大学院工学研究科 助教 松本 歩 氏、教授 八重 真治 氏
- ▶ イーグレブルワリー 竹本 忠弘 氏



(安田 氏)



(松本 氏)



(竹本 氏)



(試飲の様子)

循環経済(サーキュラーエコノミー)に向けた取り組み②

事業化案件の支援

地域連携によるアップサイクル・ビールの開発

乾麺メーカーで発生する素麺端材に着目し、姫路市内のクラフトビール醸造所、たつの市の乾麺メーカー、龍野商工会議所との連携による事業化支援に取り組んだ。

当所は、関係者間のマッチング、商品コンセプトの整理、セミナー発表やプレスリリース支援など、事業化に向けた伴走支援を実施した。

その結果、素麺端材と醤油を活用したアップサイクル・クラフトビール「タヤけ小やけ」が完成。

2026年2月に試飲会を実施し、2026年4月から一般販売を開始している。



所報での企業紹介

ビジネス機会としての意識醸成を図るため、所報に企業紹介のコーナーを新設し、サーキュラーエコノミーに関するビジネスに取り組んでいる事業所を紹介した。年4回掲載予定で、上期には2回掲載。

掲載テーマ:

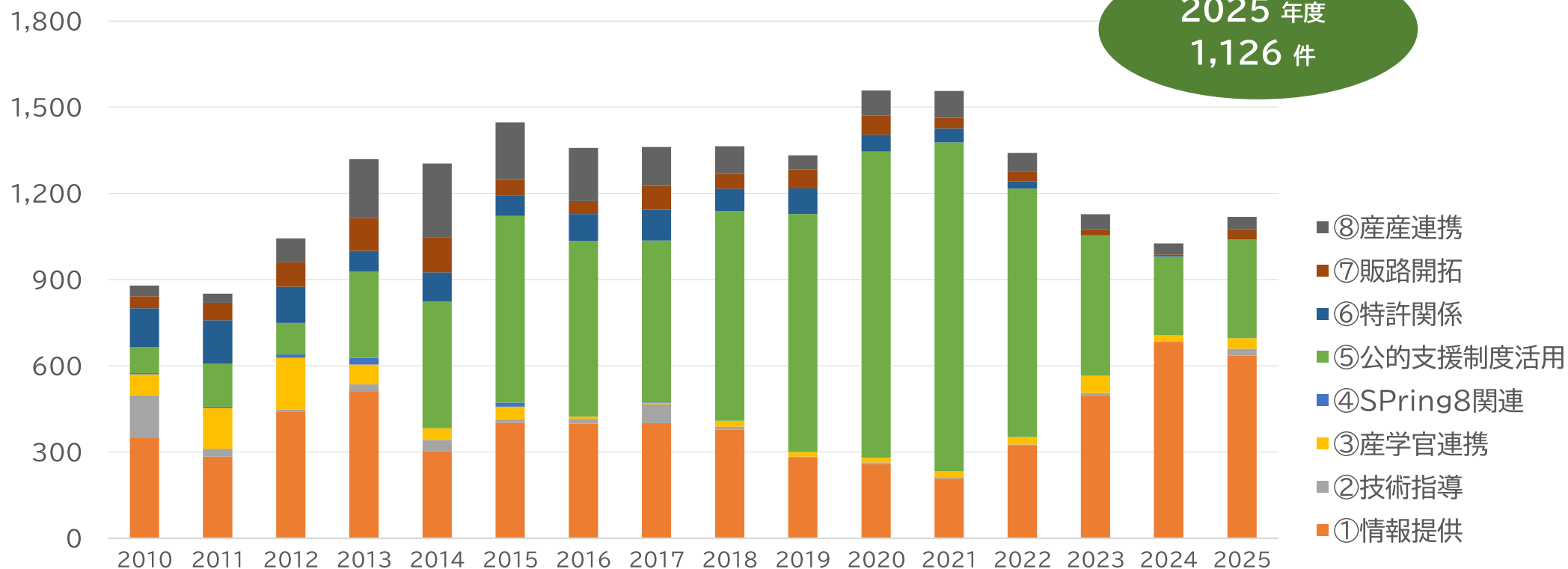
- ▶ 枯渇が懸念される魚介原料を使用しないうどん出汁の開発
(マエカワテイスト株式会社)
 - ・魚介原料を使わず、きのこ・昆布・野菜で「植物性うどんだし」を開発
 - ・大阪青山大学・兵庫県立大学と共同開発
 - ・資源枯渇や海洋汚染問題に配慮し、サステナブルな食の実現
- ▶ デジタルものづくり技術で広がるアップサイクル事業
(株式会社広野鉄工所)
 - ・木材端材や空瓶をインテリア等にアップサイクルした商品を企画・販売
 - ・デザイン力+デジタル技術で新たな価値を創出
 - ・小規模事業者ならではの身近なサステナブルものづくりを推進
- ▶ 伝統と革新の発酵技術で未利用資源をアップサイクル
(ヤエガキ醗酵技研株式会社)
 - ・日本酒副産物「酒粕」を独自の二段発酵技術で高機能素材へ転換
 - ・食物繊維・アミノ酸を豊富に含む素材として、健康食品・美容分野で活用
 - ・伝統の発酵技術を武器に廃棄物削減を超えたアップサイクルを推進
- ▶ 未利用の剪定枝葉を次世代エネルギーへ
「地産地消型固形燃料バイオコークス」の製造
(株式会社熊田造園)
 - ・剪定枝葉や草などの未利用資源を「バイオコークス」に再資源化
 - ・石炭コークスの代替となるカーボンニュートラルな地域産エネルギー
 - ・同業他社の枝葉受け入れや地域産業での活用を通じた、地域内循環モデルの構築

ものづくり産業の支援の強化

■ 姫路ものづくり支援センター

- ・計画：姫路ものづくり支援センターを拠点に、播磨地域のものづくり産業へ情報発信・個社支援。
- ・実績：専門家による個社支援を実施。相談件数1,126件（情報提供635件、公的制度活用344件、販路・産産連携等78件他）。
- ・今後の取組等：専門家や地元大学とのネットワーク拡充、対象エリア拡大により、相談件数増と対応力強化に努める。

➤ 支援件数の推移



ものづくり産業の支援の強化

■ 播磨地域のものづくり産業への支援、脱炭素対応・GX等に関する情報発信

- ・計画: 公的支援制度の発信、オープンイノベーションの活用、GX関連の情報発信を実施。
- ・実績: 公的支援セミナー・大企業ニーズ紹介・脱炭素セミナー・所報による情報発信を実施。
- ・今後の取組等: 企業の取り組み状況の把握に努めつつ、CNをはじめ課題に応じた情報発信を実施。

> 公的支援紹介セミナー

多岐にわたる経営課題に対して利用できる支援制度について行政・支援機関より具体的な方法、事例等も交えながら紹介した。

■開催日 2025年4月17日(木)

■参加者 67名

■講師 経済産業省・兵庫県

ひょうご科学技術協会・兵庫県立大学・姫路市他

> 脱炭素セミナー

GXをめぐる政策の最新動向やカーボンプライシング構想とともに、脱炭素への支援制度を紹介した。

■開催日 2025年5月20日(火)

■参加者 65名

■講師 近畿経済産業局・兵庫県

(一社)環境共創イニシアチブ・姫路市他



(梶原委員長 挨拶)

> オープンイノベーション ～大企業ニーズ紹介・個別提案募集～

中小企業のビジネスチャンス創出を目指し、大企業より業界動向とともにニーズを紹介、提案を募集。面談を経て連携に向けて進展中。

■開催日 2025年8月25日(月)

■参加者 101名

■講師 川崎重工業(株)

■進捗 提案41社→面談13社→取引見込7社



> 所報

■掲載テーマ:

- ・GXビジョン・カーボンプライシング
- ・見える化ツール・公的支援制度
- ・鉄鋼 地元6社によるCNへの取り組み



ものづくり産業の支援の強化

■ 播磨地域のものづくり産業への支援、脱炭素対応・GX等に関する情報発信

- ・計画: 公的支援制度の発信、オープンイノベーションの活用、GX関連の情報発信を実施。
- ・実績: 公的制度セミナー・大企業ニーズ紹介・脱炭素セミナー・所報による情報発信を実施。
- ・今後の取組等: 企業の取り組み状況の把握に努めつつ、CNをはじめ課題に応じた情報発信を実施。

➤ カーボンニュートラルセミナー

カーボンニュートラルの基礎知識や取り組み方、さらに今後導入が検討・推進されるカーボンプライシングへの対応も紹介した。

■開催日 2025年12月19日(金)

■参加者 22名

■講師 中小企業診断士 小西 豊樹 氏

株式会社エスプールブルードットグリーン



➤ GXによる企業価値向上セミナー

環境分野に特化したメディアの視点から分かりやすく、最新動向や企業事例、ビジネスチャンスを紹介した。

■開催日 2026年3月12日(木)

■参加者 35名

■講師 株式会社宣伝会議



ものづくり産業の支援の強化

工業の発展を担う職業人育成、広域連携による先進事例共有（工業委員会）

- ・計画：工業高校等と連携し、ものづくり人材確保と若年層への魅力発信を推進。広域連携による先進事例共有。
- ・実績：姫路工業高校向け実習実施。倉敷市視察で先進事例を共有。
- ・今後の取組等：職業人育成に向け他学科へ展開。広域連携における3年間の活動実績をもとに今後の方針検討。

➤ 姫路工業高等学校向け校外実習の実施 （機械科2年80名）（工業化学科2年40名）

姫路地域のものづくり産業を直接体験し学ぶことにより、学生の興味関心の幅を広げるとともに、工業の発展を担う職業人として必要な資質を育成することを目的に、開催中。

（機械科） ■内 容 事業説明・工場見学・ワークショップ等

■期 間 2025年5月 ～ 2025年10月

■受 入 8 社

（工業化学科） ■内 容 事業説明

■期 間 2025年12月

■受 入 1 社



➤ 広域連携による先進事例の共有 ～空飛ぶクルマ・蓄電池～

成長産業・脱炭素をテーマに、合同視察会を開催。当所工業委員会をはじめ、5商工会議所より総勢31名が参加。

成長産業として、空飛ぶクルマ／MASC（倉敷市、航空・宇宙分野の先端技術活用による産業集積を目指す）、脱炭素として、蓄電池／（株）パワーエックス（玉野市、再エネの普及を加速する国内蓄電池メーカー）を視察。

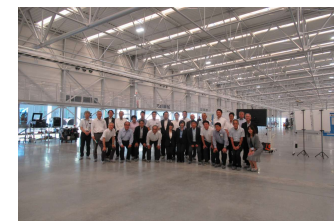
■開催日 2025年7月30日（水）

■視察先 一般社団法人MASC、（株）パワーエックス

■参加者 31名



（空飛ぶクルマ／（一社）MASC）



（蓄電池／（株）パワーエックス）

ものづくり産業の支援の強化

■ 播磨圏域ものづくりプラットフォーム

- ・計画：播磨圏域ものづくりプラットフォームを通じ、先端技術や成長産業の情報発信を強化。
- ・実績：播磨地域の大企業による最新動向や生成 A I をテーマにセミナー開催、情報交流を促進。
- ・今後の取組等：播磨圏域のネットワークを活かし、スタートアップ活用を取り組みと新技術・新産業に関する情報発信。

➤ セミナーの開催

播磨地域企業の最新動向

～カーボンニュートラル・サーキュラーエコノミー～

中小企業のビジネスチャンスの創出を目指し、当地の大企業より業界の動向やカーボンニュートラル・サーキュラーエコノミーへの取り組み状況、今後の展望などを紹介した。

■開催日 2025年6月18日(水)

■参加者 85名

■講 師 (株)ダイセル イノベーション・パーク所長 隅田 克彦 氏
ウシオ電機(株) 研究開発部門 副部門長 鮫島 貴紀 氏



(隅田 氏)



(鮫島 氏)



➤ AIでビジネスを加速

～中小企業ができる戦略・産学共同研究～

AI技術をテーマに、ビジネスの視点とアカデミックな視点の両面から、中小企業が今からできる戦略、産学共同研究の取り組みを紹介するとともに、参加者のネットワークづくりや情報交換を目的に交流会を開催。

■開催日 2025年10月23日(木)

■参加者 95名

■講 師 スノーフレイク・コンサルティング合同会社 中島 正博 氏
兵庫県立大学大学院工学研究科 礪川 悌次郎 氏
兵庫県立大学 社会情報科学部 笹嶋 宗彦 氏



(佐和副会頭 挨拶)



観光産業の育成

■ 若い世代の斬新なアイデアを観光振興に活用

- ・計画: ①「ひめじ観光ビジネスコンテスト2024」入賞案件の事業化と②運営方針の検討
- ・実績: ①最優秀賞（ガラディナー）優秀賞（周遊ビンゴ）プラン実現に向け、旅行会社と検討。
 - ・「周遊ビンゴ（豊岡・芸術文化観光専門職大学）」をベースとする市内周遊事業をJTBにて実施
 - ・「ガラディナー（流通科学大学）」のプランはターゲット・事業費見積等、再考必要。今回は見送り。
- ②今後の運営について、2年に1度コンテストを開催。翌年は受賞プラン実現に向けての検討年度とする。
- ・今後の取組等: 2026年度「第2回ひめじ観光ビジネスコンテスト」を開催（予定）

➤ 受賞プラン実現に向けての検討

最優秀賞「ガラディナー（流通大学）」について旅行会社と商品化を検討。

「特別感が出せ高価格帯の商品造成も可能なプラン」との評価の一方で、運営上の課題（雨天対策、調理方法等）、ターゲットの絞込み等、商品化に向けての課題も多く、今回は見送ることとした。

➤ 「周遊ビンゴ」事業化決定 姫路マンホールスタンプラリーの実施（JTB）

JTB姫路支店が優秀賞「周遊ビンゴ（芸術文化観光専門職大学）」のプランをベースに、姫路のものづくり力を加えた周遊イベントを事業化。周遊箇所の特徴を表現したデザインマンホール（㈱虹技）を製作・設置し、スタンプラリー形式で周遊させるイベント。企画会議には、豊岡・芸文大の学生さんにも参画いただき事業化に向け検討した。

■開催日 2025年12月1日～2026年1月31日

■周 遊 市内8箇所にデザインマンホールを設置
※姫路城、書写山、姫セン、ヤマサ蒲鉾
家島ほか

■主 催 ㈱JTB姫路支店



観光振興の取り組み

神戸以西への誘客促進事業を拡充

- ・計画: ① 2024年度の5商工会議所（姫路、神戸、明石、加古川、高砂）に、4商工会議所（赤穂、相生、龍野、豊岡）を加え、各地DMOや観光協会と連携して広域観光を検討
② 広域観光ルートについて、各地DMO等へ提案
- ・実績: ① 各地会議所より観光資源を収集し、連携先の旅行会社と観光客目線に立った周遊パンフレットを制作。
② 姫路・神戸DMO主催「旅行会社向け商談会(26.1・2月)」にて発信。また神戸空港利用推進協議会（県・神戸市・神戸cci）に提案し、同協議会の協力を得て国内外の就航先空港にて配布。
- ・今後の取組等: 2026年度も継続実施。神戸空港の国別利用状況等を勘案し、ターゲット国の1つに台湾を加えた情報発信を展開する。

【広域観光】神戸以西への誘客促進事業

(1) パンフレット設置・配布

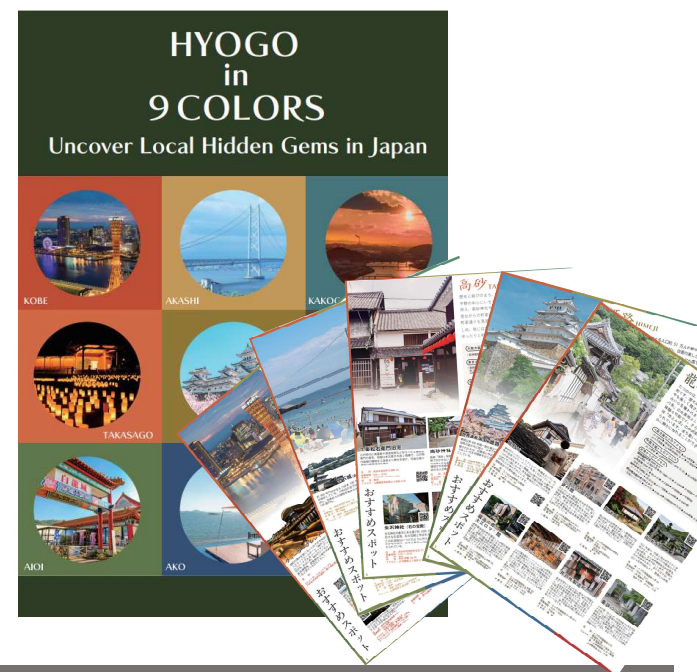
- ①空 港（神戸・青森・仙台・新潟・茨城・松本・岡山・長崎・鹿児島空港）
- ②航空会社（スカイマーク、全日本空輸、FDA、トキエア、大韓航空、スターラックス航空）
- ③そ の 他（神戸港クルーズ船客へ手渡し、三宮等鉄道主要駅、観光案内所ほか）

(2) 姫路・神戸DMO主催「旅行会社向け商談会(26年1・2月)」にて発信

東京・福岡にて開催。
旅行会社17社に神戸以西の観光素材を発信。



東京会場にてPR



観光振興の取り組み

DMOと観光産業育成を協働

- ・計画: ① 観光産業育成に関する事業について協働、人材派遣による支援継続
② 観光基礎データや古民家情報、宿泊動向等の調査分析結果を提供(姫路経済研究所→DMO)
- ・実績: ① 宿泊動向に関する調査ノウハウをDMOへ移管。第1四半期よりDMOにて調査開始。
② 観光委員会にて「龍野市重伝建地区の視察」ならびに「古民家を活用したまちづくり（講師：(株)緑葉社）」について情報収集。DMOにワザバー参加いただき、広域連携の必要性を共有。

龍野重伝建地区の視察(観光委員会)

観光セミナーの開催(観光委員会)

- 開催日 2025年10月10日(金)
- 視察先 龍野市重要伝統的建造物群保存地区
- 参加者 観光委員会 11名
- 内 容 研修：「古民家を活用したまちづくり」
視察：「龍野市重伝建地区フィールドワーク」
説明：(株)緑葉社 畑本代表



- 開催日 2026年2月5日(木)
- 場 所 姫路商工会議所702ホール
- 参加者 44名
- 内 容 観光セミナー「ムカシとミライをつなぐまちづくり」
(講師)(株)緑葉社 畑本 康介 氏



都市機能向上に繋がるエリア特性を活かしたまちづくり

■ 中心市街地を取り巻く課題解決、商業活性化支援

- ・計画：中心市街地の課題解決・調査研究・まちづくり人材の育成・売上販路拡大支援
- ・実績：まちづくり人材講座開催、中心部活性化支援（まちづくりステーション運営、空き店舗対策、課題解決に向けた中活協（総会・調整会議）の開催、商業振興事業の実施【まちゼミ】、中心商店街実態調査の実施）

➤ まちづくり人材育成講座（都市まち委員会）

「複雑な課題のつながりをシステム思考で読み解く！
企業経営・まちづくりの課題解決セミナー」

- 開催日 2025年8月7日(木)、18日(月)、28日(木)
- 参加者 延べ138名
- 講 師 大学院大学至善館教授(イノベーション経営専攻)
枝廣 淳子 氏



➤ 中心部活性化支援

■ まちづくりステーション「街の駅」の運営

- ▶商店街利用者への情報発信、商業者の相談対応
- ※来館者数(4-3月):13,960名(対前年比:132%)

■ 中心部 商店街空き店舗対策事業

- ▶空き店舗出店者への各種相談対応・審査会運営
- ※審査会申請書類(事業計画書等)策定支援(認定:4社・317万円)

■ 商業振興事業の実施

- ▶第2回姫路得とくゼミナールキッズ(8月) 開催31講座/参加者917名
- ▶第23回姫路得とくゼミナール(2月) 開催23講座/参加者227名
- ▶クリスマス地域連携企画「ちびっこサンタ大行進」(12月)
「街の駅」会場の来館者数1247名

■ 中心商店街実態調査の実施

- ▶業種構成、空き店舗等の実態調査
- ※四半期毎、4回開催

都市機能向上に繋がるエリア特性を活かしたまちづくり

■ 販路拡大の強化・まちの賑わい向上（商業活性化・伴走型支援）

- ・計画：「播磨フードビジネス商談会」開催（百貨店等のバイヤーを招聘。商業者の販路拡大並びに地域の魅力向上）
- ・実績：バイヤー（15社・32名）サプライヤー（56社・84名）。商談総数（128件）、海外進出相談（15件）

➤ 「播磨フードビジネス商談会」の開催

- 開催日 2025年10月29日(水)13-17時
- 場 所 姫路商工会議所 大ホール
- 参加者 71社(116名)
 - ・バイヤー（15社・32名）
 - ・サプライヤー(56社・84名)
- 商談数 128件
- 海外相談 15件
- 商談結果 市内事業所を中心に28社(63商談)の状況を確認。

成約率約22%、継続案件 約38%であった。

項目	件数（割合）
成約・成約見込み	14件（22.2%）
交渉継続中	24件（38.1%）
見送り・未進展	25件（39.7%）
合計	63件



（2025/11/14 神戸新聞 掲載）



姫路経済研究所

景気動向調査・特別調査・数字で見る姫路経済

- ・計画: ①諸産業の動向、観光、企業経営に資する情報の調査研究と情報発信を実施。
②産業の動向等に関する調査・観光に関する基礎データの収集・分析結果等についてDMOに提供
- ・実績: ①景気動向調査、特別調査、数字で見る姫路経済を刊行し、経済情勢を把握・発信。
②産業動向、観光データ等に関する調査・発信については情報収集等に留まった。

景気動向調査

定例調査

- ▶ 会員企業を対象とし、四半期毎に姫路市内の事業者の経営及び各種動向に関する調査を実施。
- ▶ 調査結果は、定例記者会見、ホームページ、ひめじ商工会議所報にて発信。

特別調査

特別調査実施テーマ

- ▶ 賃上げに関する調査
- ▶ 価格転嫁に関する調査
- ▶ 米国相互関税影響調査(4月、9月)
- ▶ 中小事業者における人材不足に関する調査
- ▶ 中東情勢に関する影響調査(ヒアリング調査)(3月)



業況

- ・全体では、前期比1ポイント低下の▲25、来期は▲30と慎重な見通し。
- ・小規模は3ポイント低下、中規模と大規模は共に上昇した。
- ・業種別では、卸売業と小売業が上昇、建設業と製造業が低下した。



定例記者会見にて当地の景況感を発表

SDGs普及促進

SDGs理解促進

- ・計画：中小・小規模事業者のSDGs理解促進のため、所報にて毎月取組事例を紹介。あわせてSDGs宣言を推進。
- ・実績：2025年度SDGs宣言148件、累計885件。SDGs推進委員会では大阪・関西万博への視察を実施。
- ・今後の取組等：引き続きSDGs宣言の推進、取組事例の発信により、SDGsの理解促進を継続。

> 大阪・関西万博視察（SDGs推進委員会）

- 開催日 2025年5月14日（水）
 - 視察先 大阪・関西万博会場（大阪市此花区夢洲）
 - 目的 最先端技術・各国の取組を学び、SDGs達成へのヒントを得ること
 - 参加者 SDGs推進委員会メンバー・従業員 含む計22名
- 各国の先端技術や文化に加え、企業パビリオンで示されたSDGsの取り組みに触れ、社会課題解決のヒントや持続可能な未来づくりの方向性を学ぶ貴重な機会となった。

> SDGs推進のための取組み

- 情報発信 SDGsに取組む事業所を取材し、毎月、所報にて発信。各社の取組事例を紹介しSDGsの理解を深める活動を実施。
【実績】今年度4月より**12社の取組を紹介**
- SDGs宣言 中小・小規模事業者を中心に姫路市SDGs宣言を推進。
【実績】今年度4月より**148件の宣言（累計885件）**



MANEKI FUTURE STUDIO JAPANにて



拍動する『iPS心臓』



創業ステーションによる支援の拡充

創業ニーズへの支援強化

- ・計画：創業ステーション（創業相談窓口）の運営や創業塾開催等を通じた創業支援、創業ステーション認知度向上。
- ・実績：創業者数121名・創業相談748件の支援を実施、計画作成は402件を支援。
創業塾 4回実施116名、創業者交流会57名にて実施
創業計画作成支援、経理指導、融資紹介・斡旋等による創業者創出へ継続的に取り組む。

創業支援機関・関連機関との連携強化

- ・計画：県・市・日本政策金融公庫・兵庫県信用保証協会等との情報交換、支援情報の発信・紹介
- ・実績：県・市・起業プラザひょうご姫路等と定期的な情報交換通し、事業の相互紹介や参画を実施
昨年に続いて高校生を対象とした創業者によるトークセッションを実施、創業の魅力を伝えた。

起業家3名によるトークセッション
「自分らしく夢を実現するために」



事業承継支援

■「後継者塾」の内容充実と参加企業のネットワーク化

- ・計画：継者塾フォローアップ事業の実施、経営知識と参加企業のネットワーク化を促進。
- ・実績：後継者塾卒業生を対象に全4日間の日程でフォローアップ講座を実施し、卒業生12名が受講。
- ・今後の取組等：次年度は後継者塾2026として新たに募集・実施予定

■事業承継相談窓口の開設、セミナー開催

- ・計画：事業承継相談窓口の運営、事業承継に関する法制・政策動向の情報発信等
- ・実績：相談件数487件、支援件数188件、サテライト相談30件を実施。
事業承継M&Aセミナー・姫路市事業承継サポートセミナーなど啓発事業の実施
- ・今後の取組等：引き続き事業承継相談に対応するとともに、「兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター」と連携し、円滑な承継につながるよう支援を継続。

＞ 後継者塾開催の概要

【対象】

後継者塾2023・2024に参加者(後継予定者・二代目社長(後継者)・後継を志す方)

【講師】

KM有限会社 代表 塔筋 幸造 氏(全4回) (中小企業診断士・MBA経営管理修士)

株式会社宝角合金製作所 代表取締役 寶角 勝利 氏

講演テーマ：「“経営を継ぐ”から“未来を創る”へ」

菱南電装株式会社 代表取締役 児島 生也 氏

講演テーマ：「ビジョン経営について」

中小企業委員会

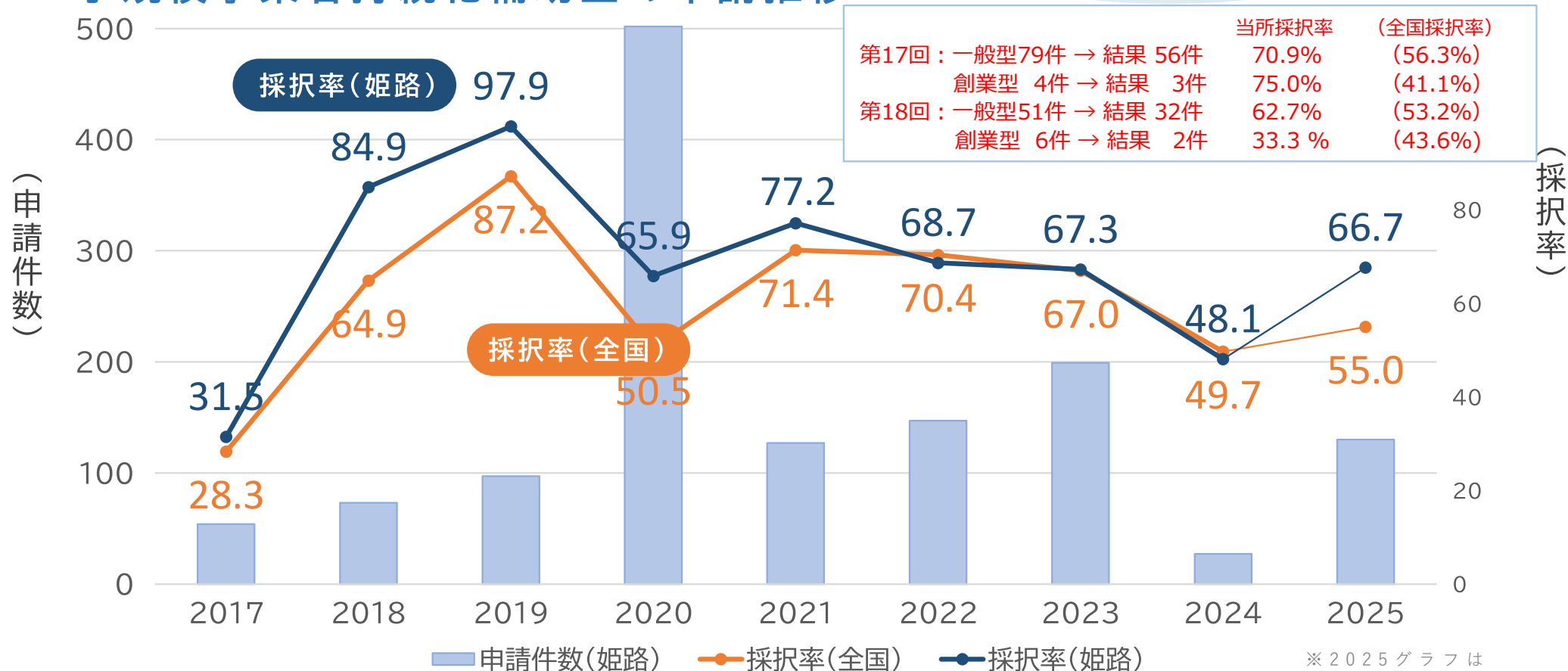


伴走型支援による補助金の支援実績

小規模事業者持続化補助金の申請支援

- ・計画：補助金等を活用した事業計画策定、販路開拓支援、マッチング支援。
- ・実績：持続化補助金等の申請支援に取り組んだ。
- ・今後の取組等：補助金申請、採択後のフォローを継続し、販路開拓に繋げていく。非会員事業所への入会を促進。

小規模事業者持続化補助金の申請推移



※2025 グラフは
第17回・「一般型」のみ

伴走支援の強化

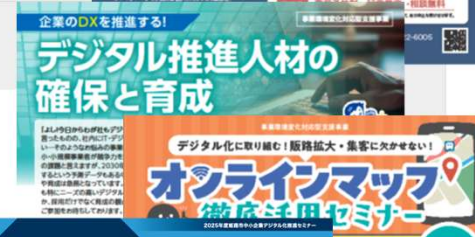
■ 人材確保・育成・定着支援の強化

- ・計画: ①多様な人材(外国人材活用・女性活躍・中高年層活躍等)の活用促進
②人材・育成・定着支援につながるよう、セミナーを開催。
③働き方改革関連法・育児介護休業法等各種法改正に対応するための相談窓口設置
- ・実績: ①年収の壁、育児介護休業法対応セミナー、女性リーダー育成講座の実施、所報を通したリスキング・キャリア形成情報の発信。
②32件の専門相談対応を実施。
③新入社員研修や階層別研修を11月までに計27回実施、746名が参加。



■ デジタル化支援の強化

- ・計画: デジタル化人材の育成、デジタル活用段階に応じた支援の実施
- ・実績: デジタル化人材の育成、デジタル活用段階に応じた内容の I T・S N S・A I 活用から D X に関するセミナーを計13回実施、昨年を上回る494名が参加。
- ・今後の取組等: 次年度は D X を体系的に学ぶ中期プログラムなどを実施予定。



■ 補助金等を活用した事業計画策定

- ・計画: 小規模事業者持続化補助金等の活用による販路開拓事業計画策定支援の実施。
- ・実績: 持続化補助金等の申請支援に計140件取り組み。
- ・今後の取組等: 販路開拓や生産性向上支援のため、補助金活用支援の継続実施。

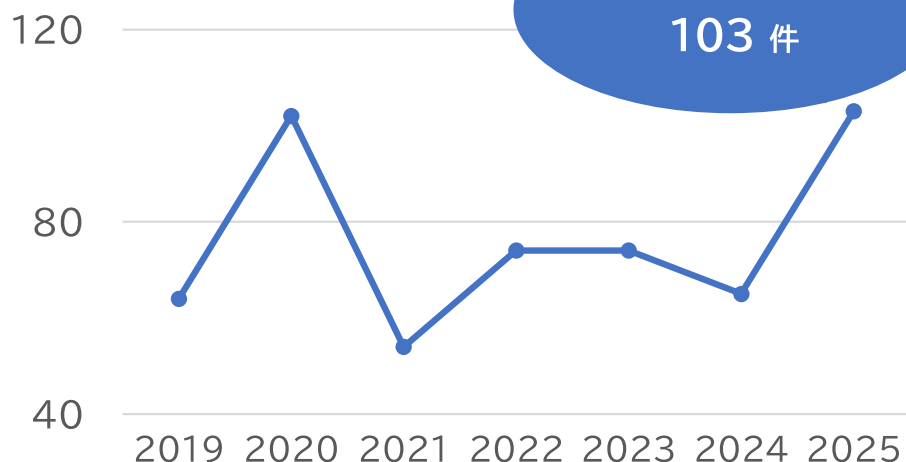


伴走支援の強化

デジタル化支援

- ・計画: IT相談窓口やITコンソーシアム、ロボット導入セミナー等を通じ、中小・小規模事業者のデジタル化を支援。
- ・実績: IT相談103件、ITコンソーシアム案件1件、ロボット導入セミナー60名、製造業によるロボット活用事例見学会を2回開催（計41名）、補助金活用セミナー42名、相談・支援事例を所報で紹介。
- ・今後の取組等: 姫路市産業デジタル化活用促進補助金をはじめとする制度を活用し、実装を支援する。

> IT相談窓口



① 情報提供	16
② 補助金活用（作図・生産管理・3DCAD・通販在庫管理他各種システム導入）	55
③ IT活用（社内DX化、生成AI・SNS・オンラインショップ・セキュリティ他）	32

> 「ITコンソーシアム姫路」を通じた対応

■導入完了 2件

①注文管理システム

②WEB用アプリ

■進行中 1件

①受注システム

> 所報

■掲載テーマ: ・IT相談窓口相談対応事例、ITコンソーシアム実装事例

サポート事例

社内ネットワーク環境の整備及びサーバー導入による重要情報のバックアップ強化

株式会社江測工業所

所在地 姫路市大津区天神町2-11
代表者 代表取締役 江測 修
事業内容 精密製缶、精密板金加工

▶ 伴走支援の強化

■ デジタル化支援

- ・計画: IT相談窓口やITコンソーシアム、ロボット導入セミナー等を通じ、中小・小規模事業者のデジタル化を支援。
- ・実績: IT相談103件、ITコンソーシアム案件1件、ロボット導入セミナー60名、製造業によるロボット活用事例見学会を2回開催（計41名）、補助金活用セミナー42名、相談・支援事例を所報で紹介。
- ・今後の取組等: 姫路市産業デジタル化活用促進補助金をはじめとする制度を活用し、実装を支援する。

▶ ロボット導入セミナー

人手不足への対応や生産性向上に向けたセミナーとして、中小企業におけるロボット導入・自動化の必要性、具体的な進め方、導入のための準備、人材育成等について紹介した。

- 開催 2025年9月25日(木)
- 参加者 60名
- 講師 オフィスイーグレイション 代表 吉村 好広 氏
株ニチリン 設備課長 廣畑 栄司 氏
- 進捗 個別フォロー実施(4社へ専門家を派遣)

▶ ロボット・自動化機器等導入に使える補助金活用セミナー

ロボットや自動化、デジタル化等導入にむけて、業務の効率化、生産性の向上、働き方改革など諸課題解決の一助となるよう、国が実施する各種補助金について紹介した。

- 開催 2026年3月3日(火)
- 参加者 42名(個別相談会7名参加)
- 講師 SKY合同会社 代表社員 井石 創一朗 氏

▶ 製造業によるロボット活用事例見学会

ロボットやAI、デジタルツールを活用したDX実践事例、具体的な取り組み方や導入イメージを紹介する

- 開催 (第1回)2025年12月12日(金)
ロザイ工業(株) 赤穂工場
- (第2回)2026年 1月16日(金)
アスカカンパニー(株)
- 参加者 (第1回)23名 (第2回)18名



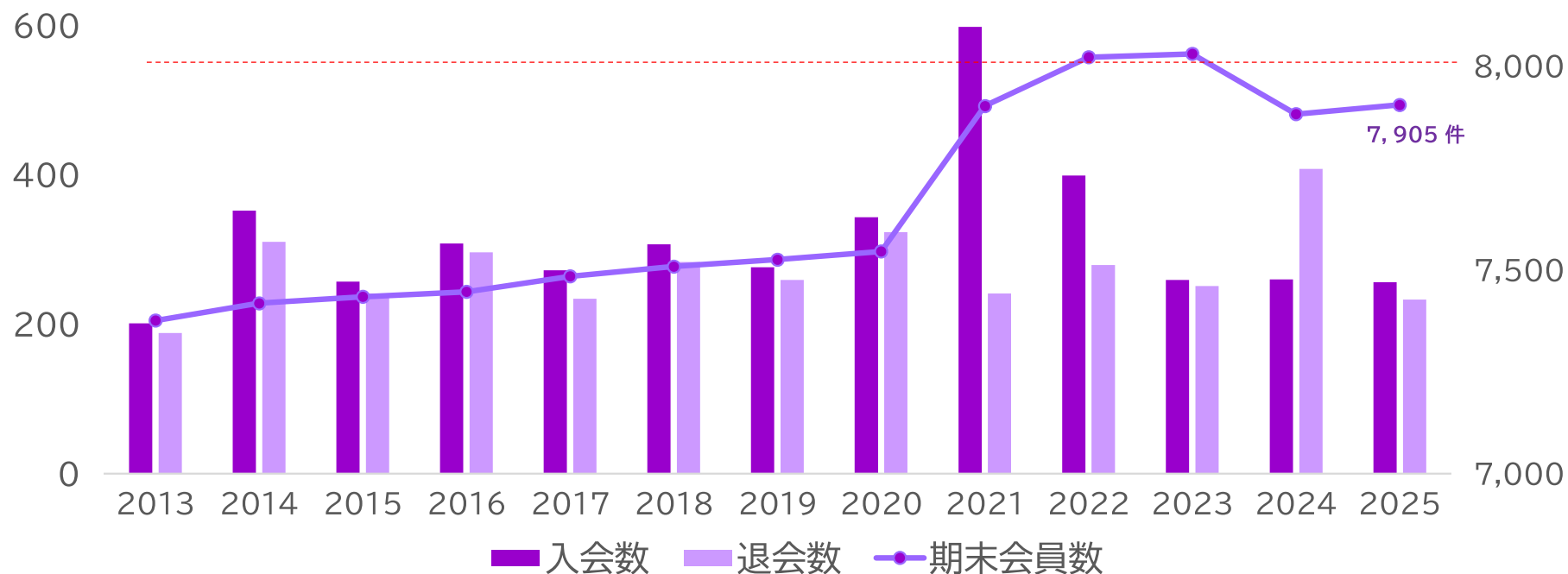
[illegible]

組織基盤の強化に向けた取り組み

■ 会員数の8,000件台への回復

- ・計画: 紹介キャンペーンや経営相談者等の勧誘に加え、創業支援先や加入の少ない業種等からの新規加入を強化
- ・実績: 256件の新規入会があったが、廃業・倒産等により233件退会（前年度比+23件）。
- ・今後の取組等:
地区巡回時、相談対応時による加入促進に取り組むとともに既会員への紹介キャンペーン周知により会員を獲得。
また、加入の少ない業種、特定商工業者負担金入金先へのアプローチを行い、8,000会員への回復を目指す。

➤ 会員の推移



※数値は「会員＋特別会員」

提言・要望活動

提言・要望活動

- ・計画：経済振興対策会議での意見交換を活発化。姫路市・兵庫県・国へ提言・要望活動を実施。
- ・実績：経済振興対策会議ではテーマに基づき活発に意見交換。行政への要望活動を実施。
- ・今後の取組等：会員ニーズをもとに、要望活動を活性化させるため、協議時期・内容等の見直しを図る。

＞ 姫路市

経済振興対策会議

- ▶ 意見交換を実施（5/21、7/23、10/2、12/24、3/25開催）
米国関税措置等に関する市内企業への影響・
人口動態に関する内容 ほか

要望書を提出（10/2）

- ▶ 企業支援（米国関税措置、労働力不足、生産性向上）
- ▶ ものづくり支援（新事業創出、企業立地促進）
- ▶ 観光産業の振興（広域観光、MICE等） ほか



＞ 兵庫県

要望書を提出（10/20・兵商連）

- ▶ 人手不足対応、中小・小規模事業所の経営力強化
産業用地確保のための整備 ほか

県内会頭懇談会（9・10月に計4回開催）

人口減少・産業用地・地場産業等について県も交え意見交換

播磨臨海地域道路

早期実現を要望（5/30に要望書を提出・促進協議会）



＞ 国

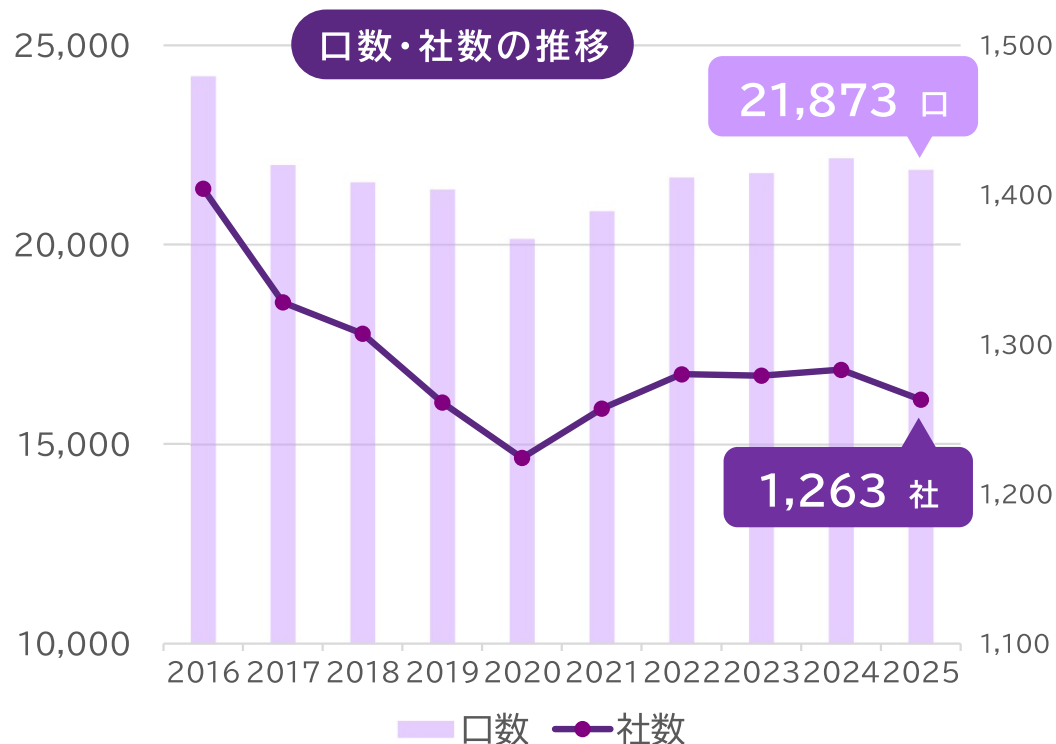
日本商工会議所を通じた要望

収益基盤強化に向けた取り組み

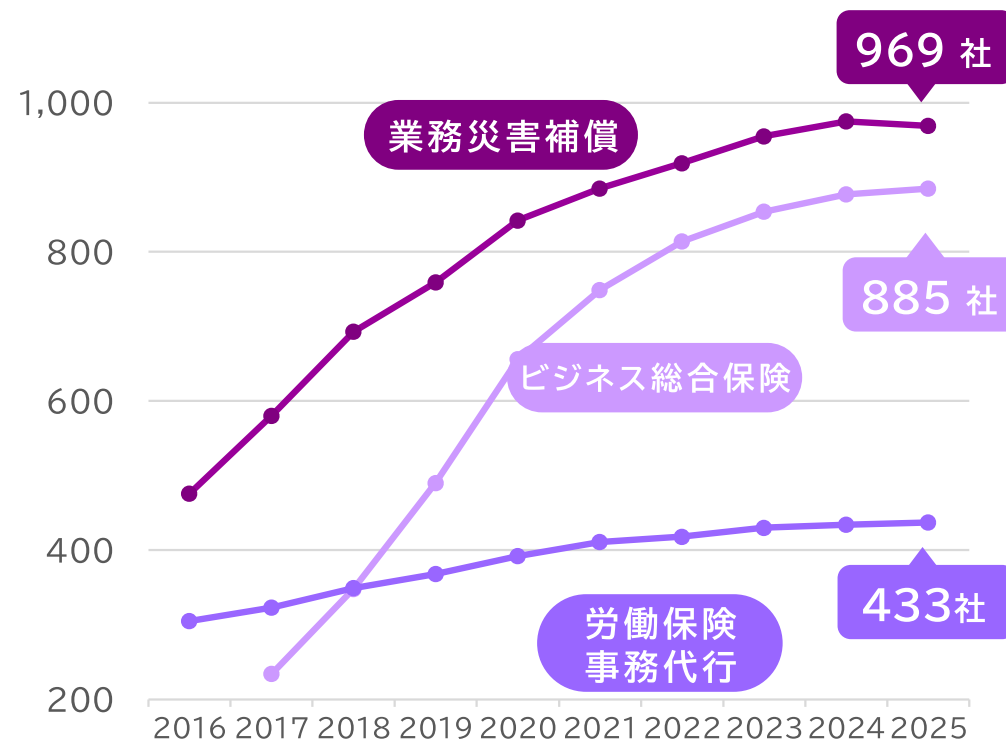
福利厚生に関する制度の加入促進

- ・計画: 会員ニーズに応じた制度利用促進（共済キャンペーン等を活用）
- ・実績: キャンペーン実施により生命共済の加入口数は2,047口、保有口数は21,873口。脱退もあり微減。
- ・今後の取組等: 直近5年間の新入会先を中心に生命共済制度を案内、提案。特退金についても周知。日商損保商品については、損保会社・代理店と連携して周知、提案。

生命共済の推移



保険等の推移（加入事業所数）

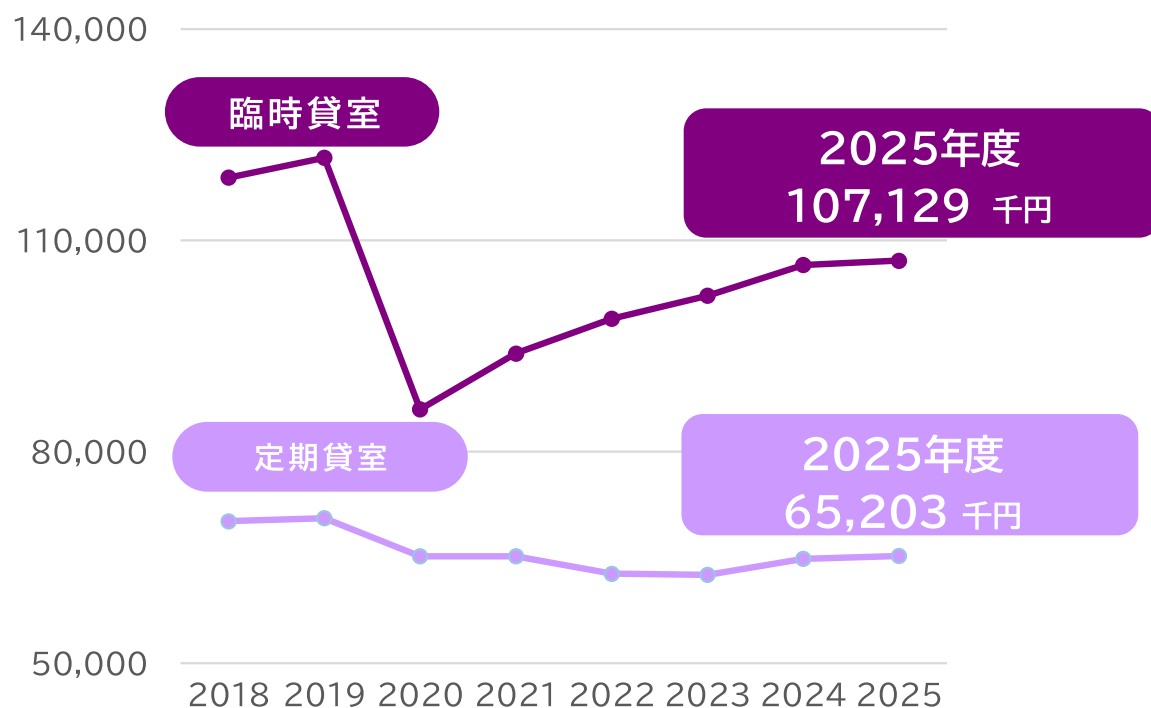


収益基盤強化に向けた取り組み

■ 会館利用促進・維持管理

- ・計画：未利用先・既利用先の会館利用の増加勧奨、付加価値向上策の検討
- ・実績：清交クラブと連携した会館利用促進を実施。本館階段タイル剥落の修繕対応。
- ・今後の取組等：引き続き会館事業等の収益力向上に取り組む。本館外壁修繕の準備。

➤ 会館利用促進



➤ 清交倶楽部との帯同訪問

1. アプローチ件数（社数）：58社
2. 成約件数：8社（成約率：13.79%）
3. 成約額：4,305,366円

（会場料と懇親会利用料の合計額）

※その他、過去利用先等へのDM発送やTELによる利用促進活動を実施。

情報発信力の向上

情報発信力向上

- ・計画：所報の特集企画、メルマガ等によりタイムリーに情報発信、各種媒体への掲載増加
- ・実績：所報特集を計画的に企画・掲載。
- ・今後の取組等：商工会議所報やHP等を通じ、引き続き情報発信

所報特集テーマ

－特集記事を計画的に企画し掲載－

- 4月 人手不足・外国人材調査、GX特集
- 5月 リスキング、CE特集
- 6月 ITコンソーシアム支援事例、CE特集
- 7月 人材確保・定着、GX・CN特集
- 8月 経営リスクへの備え、CN・CE特集
- 9月 価格交渉、健康経営、ITコンソーシアム支援事例、CN・CE特集
- 10月 議員改選①、姫路検定
- 11月 議員改選②、デジタル化戦略
- 12月 議員改選③、法改正（下請法→取適法）
- 1月 議員改選④、CE特集
- 2月 価格交渉、税制改正、海外展開支援、生成AI活用
- 3月 CN・CE特集

新聞掲載等の実績（一部抜粋：新聞、テレビ）

新聞

- | | | |
|----|------------|--|
| 神戸 | 2025/04/18 | 「姫路商議所 初のリスキリング特別調査」 |
| 神戸 | 2025/05/09 | 「姫路商議所 1～3月景気動向調査 人手不足過去最悪水準」 |
| 神戸 | 2025/05/31 | 「播磨臨海道の早期事業化を 経済団体協議会、県に要望」 |
| 神戸 | 2025/08/01 | 「姫路商議所 4～6月景気動向調査 景況感 2期連続悪化」 |
| 神戸 | 2025/10/24 | 「米国の相互関税問題 商議所が1770事業所調査 製造、卸売業 不安大きく 全体の2割『間接的な影響想定』」 |
| 神戸 | 2025/11/07 | 「姫路商議所 会頭に4期目の齋木氏再任」 |
| 神戸 | 2025/11/14 | 「姫路商議所 7～9月景気動向調査 景況感 3期連続悪化」 |
| | | 「商議所で『播磨フードビジネス商談会』 生産者ら側が回ってプレゼン『逆見本市』形式」 |
| 神戸 | 2026/02/12 | 「姫路など9地域の商議所連携播磨や県北部の魅力紹介パンフ」 |
| 神戸 | 2026/02/14 | 「姫路商議所 10～12月景気動向調査 景況感 4期ぶり改善」 |
| 神戸 | 2026/02/25 | 「中小企業でのAI活用考える 姫路商議所でセミナー」 |
| 神戸 | 2026/02/27 | 「若手の離職防止 企業経営者ら40人学ぶ 姫路商議所」 |
| 日経 | 2026/03/26 | 「そうめん端材でクラフトビール 姫路の醸造所、しょうゆが隠し味」 |
| 神戸 | 2026/03/29 | 「そうめんの端材でクラフトビール 姫路の醸造所が開発」 |

テレビ

- | | | |
|-----|------------|------------------------------------|
| NHK | 2025/11/18 | NHK総合 情報番組「リブラブひょうご」（18:30～19:00内） |
| | | 「米国関税措置等に関する調査」 |

国際交流の強化

国際交流

- ・計画：海外交流対応の体制整備。海外ミッション往来への対応、各種情報取り纏め。
- ・実績：ウェールズ脱炭素ラウンドテーブルの開催、各種レセプションや来姫訪問対応。
- ・今後の取組等：台湾との交流に向けた事前調整。

> ウェールズ・脱炭素ラウンドテーブル

■月 日：2025年4月28日

■参加者：ウェールズ政府 レベッカ・エヴァンズ 経済エネルギー担当大臣ほか
齋木会頭、村角副会頭、
脱炭素に向けた取り組みについての企業発表
・大阪ガス(株) 近藤誠一 姫路地区統括支配人
・関西電力(株) 森田一士 理事 姫路支社長
・日本製鉄(株) 近藤尚紀 瀬戸内製鉄所 総務部長

■内 容：脱炭素や持続可能な社会への意見交換



> プラハ城との 姉妹城提携記念レセプション

■月 日：2025年7月23日

■チェコ参加者：ペトル・パヴェル 大統領ほか

■内 容：姉妹城提携記念レセプションにおいて交流



> シェーンブルン宮殿との 姉妹城提携記念レセプション

■月 日：2025年5月24日

■オーストリア参加者：

アレクサンダー・ファン・デア・ベレン 大統領
オーストリア連邦経済会議所
マリアナ・キューネル 事務総長代理ほか

■内 容：姉妹城提携記念レセプションにおいて経済交流



> 台北市進出口商業同業公會表敬訪問

■月 日：2025年8月18日

■来訪者：黄文榮 秘書長、潘柏均 日本市場專案經理

■内 容：今後の交流に向けて意見交換



1. 覚書締結調印式 ※調印式終了後、歓迎レセプションを開催

- （1）開催日：2026年4月20日（月）
- （2）場 所：ホテルモントレ姫路
- （3）出席者：台北市進出口商業同業公會（IEAT）訪問団
黄 教漳 理事長 他 計20名
姫路商工会議所
齋木 俊治郎 会頭 他 計20名

2. 目的

相互の貿易・投資の情報交換、およびビジネス環境の更なる向上に向けた連携を図ること。

3. 覚書内容 （右記）

4. 台北市進出口商業同業公會（IEAT）について

- ・設立：1947年 ・会員数：6,700社
（会員の貿易総額は台湾全体の40%を占める台湾最大の商工団体）
- ・国際的ネットワーク：
世界63か国、190超の経済団体とMOUを締結。
日本には姫路を含め17の姉妹団体があり、日台間では最多の提携数
- ・理事長：黄 教漳 氏 （台隆グループ 董事長）

姫路商工会議所と台北市進出口商業同業公会との 経済交流促進に関する覚書

日本国 姫路商工会議所と中華民国 台北市進出口商業同業公会は、両地域の経済交流促進のため下記のとおり、覚書を締結する。

記

1. 両者は、相互に貿易・投資・市場等に関する情報交換を実施し、ビジネス環境の更なる向上に向け協力する。
2. 両者は、国際見本市、セミナー、商談会等の事業に関する情報を相互に交換し、当該事業を実施しようとする場合、双方の会員への広報や参加の支援を行う。
3. 両者は、経済訪問団等の企画・実施にあたり、当該事業を実施しようとする場合、その訪問団あるいは企業に対し、必要な協力を行う。
4. その他必要かつ実行可能な範囲内で双方の貿易、投資や経済協力に関する事項を推進する。

この覚書は、双方の言語で作成した上、両団体の代表が署名し、双方が一部ずつ保管する。



（調印式） 黄 理事長 齋木 会頭



（調印式） 両団体役員



（レセプション）

関連団体との連携強化

姫路商工会議所 青年部

■活動目的

若手経営者・後継者の資質の向上と啓発、会員相互の連携、経営能力の涵養に努め、姫路商工会議所活動の活性化推進と地域経済の発展に寄与することを目的に活動。

■設 立 1993年4月26日

■会員数 197名(2026年3月末現在)

■主な活動

【会員交流・チーム活動・家族例会】

委員会・青年部メンバー間の交流を深め、チームで目標達成する楽しさを体験。リーダーシップや戦略的思考を学び、経営者としての資質向上に寄与し。家族例会では、仲間や家族との絆を再確認し、活動を支える感謝の気持ちを共有した。

【講演会】

世界で活躍する方の挑戦の軌跡から、挑戦し続ける姿勢の重要性を学んだ。また、「農業×スポーツ」の事例を通じ、地域活性化や新たなビジネスモデルの可能性を発見した。

【地域イベント】

会員企業を中心に、子ども向け職業体験やワークショップを開催。地場産業の認知度向上と地域経済活性化を目指し、子どもたちに働く楽しさや姫路の魅力を伝えた。さらに、地産地消をテーマにした飲食イベントで地域食文化の発信にも貢献した。

姫路商工会議所 女性会

■活動目的

会員がお互いに手を取り、親交を深め、企業発展のための研究をすると共に、文化生活に必要な教育、教養を習得すること及び対外活動を通じて他の女性経営者等と積極的な交流を図ることを目的に活動。

■設 立 1963年5月22日

■会員数 36名(2026年5月末現在)

■主な活動

4月 姫路商工会議所女性会総会
(2025・2026年度役員選任)

10月 第32回兵庫県内商工会議所女性会交流会
(県内17女性会150名参加)



対外事業
(ひめじ未来E X P O)



例会(挑戦が道をひらく
農業×スポーツで地域活性化)



県内商工会議所交流会

事務局機能の強化

■ 職員のスキル向上

- ・計画:経営指導員・職員の各種研修を通じたスキル向上、OJT等による経営指導力・相談対応力の水準向上
- ・実績:指導員研修、階層別研修の受講による職員資質向上。ベテラン指導員による若手指導員へのOJT実施。
- ・今後の取組等:計画的な研修受講。効果検証・改善へ取り組み。

➤ 経営指導員研修

- 目的:経営指導員のスキル・指導力・相談対応力向上
- テーマ:補助金、税務、労務、IT、事業承継、販路開拓、法制度改正等
- 受講者数:全17名が延121回
- 備考:①兵庫県商工会議所連合会研修
②日商・中小機構研修
③所内研修
④その他研修

➤ 階層別研修

- 目的:商工会議所職員の資質向上
- テーマ:新入、若手、管理監督職層、経営職層のそれぞれに対し、階層別研修を受講
- 受講者数:14名

	受講者数	(対象者数)
新入職員	1名	(1名)
若手職員	5名	(9名)
管理監督職	6名	(13名)
経営職	4名	(7名)

- 備考:外部研修を中心に計画的に受講